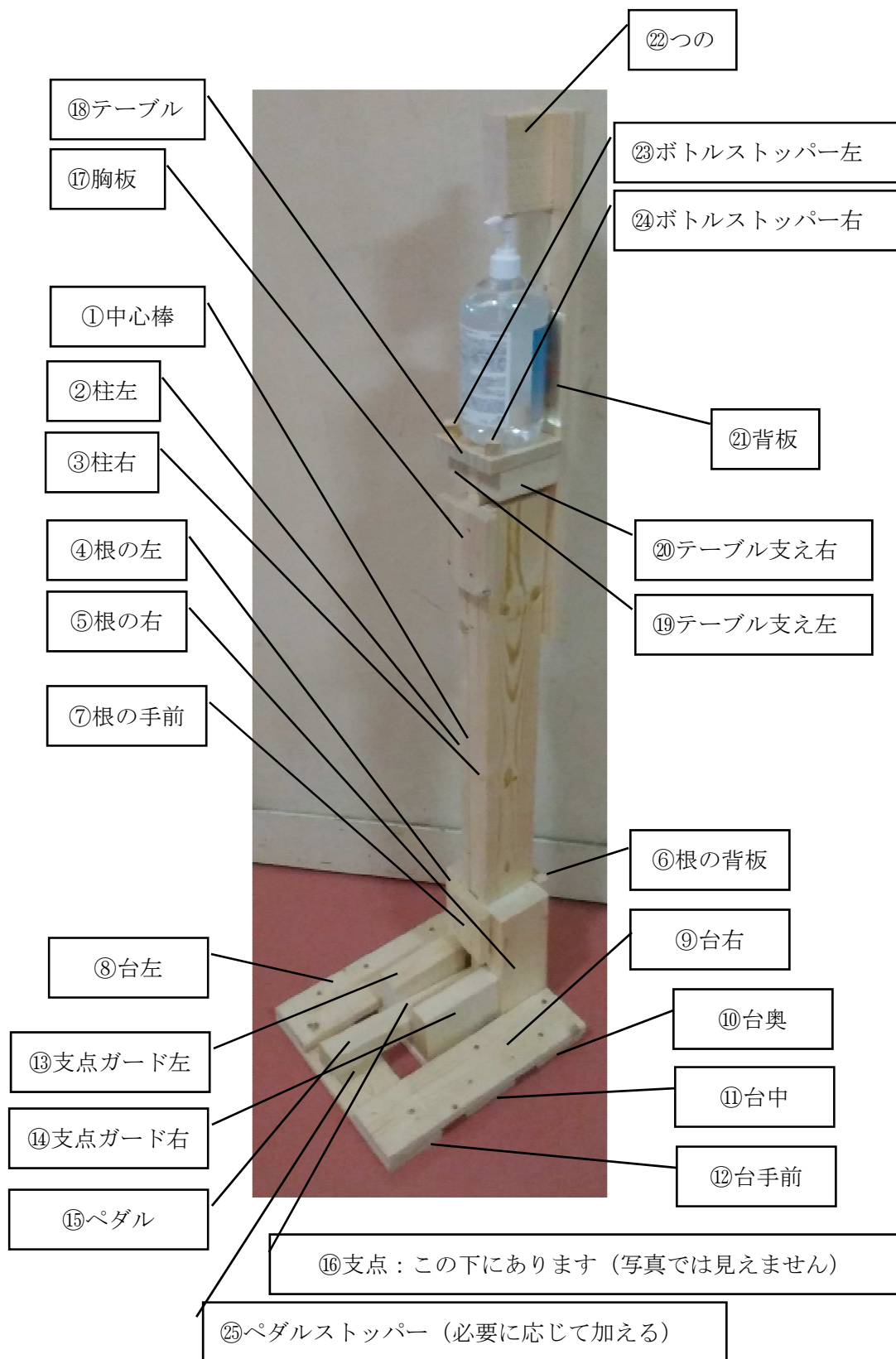


# 足踏み式消毒液スタンド

足踏み式 アルコールサーバー



各部の名称



## 道具の用意

けがき：差し金、巻き尺

切断：両刃鋸、昇降盤（丸鋸）

切削：鉋、昇降盤（丸鋸）

接合：電動ドライバードリル+ドライバービット、ドライバー

G クランプ 3 本

木工ボンド、ネジ類

ベルトサンダー、サンドペーパー

磨き・塗装、

## 材料用意

木取り図 に従って材料を用意。 2×4材は“そり”や“くるい”が多いので大量生産時にはゆとりをもって多めに用意。①②③にはまっすぐな材をあてがう。

各材料の間には“切しろ5mm”をとっておく。

やわらかめの鉛筆で部品番号①～④を書いておくと、この後の作業が楽。

## 切断

両刃鋸で切断する。木口面はベルトサンダーで整える。

④⑤の下面は正確な90度平面が欲しいので機械加工（昇降盤；丸鋸）が望ましい。

## 切削

①の幅を2～3mm狭くする。②③の間の空間で滑らかに滑るためである。

昇降盤（丸鋸）または鉋を使う。

## 穴あけ、接着場所のけがき

設計図の赤ペンが穴あけ部分

設計図の青ペンが接着のためのけがき

②③⑧⑨を組むための穴あけは「重なる正方形部分の対角線を取りその両端から30mmに印（設計図参照）」

## 穴あけ

垂直に穴をあけるためにボール盤が望ましい。

φ3.2～φ3.5で貫通穴あけ

②③については上記貫通穴あけを行った後、φ10.0を使いザグリを行う。（①の滑りをよくするために）

## 組み立て

「電動ドライバードリル+ドライバービット」を使うと効率的  
基本、接合面に木工ボンドを塗り、直ぐ木ネジでとめる。

木ネジは A : 32 mm B :  $\phi 3.3 \times 50$  mm (1×4材のこばにさすので細いもの) を使う。



A 32 mm

B  $\phi 3.3 \times 50$  mm

②柱左と④根の左 ③柱右と⑤根の右 を接合する。この時、正確に直線になるように定盤  
または平らな床の上で作業をする。【木ネジ A】



⑩台奥 をつける【木ネジ B】



⑥根の手前 ⑦胸板 を加え、柱を“コの字”に組み立てる。柱の中の空間は幅 20 mmである。以降、①中心棒を柱の中に置き、なめらかに滑ることを常に確かめながら作業をする。

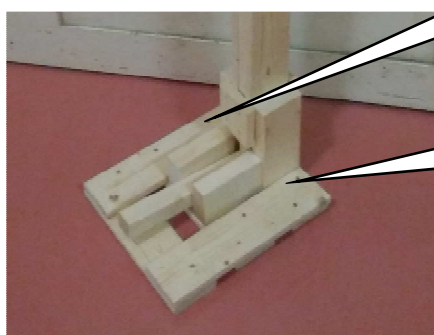
【木ネジ B】



⑦根の背板 をつける【木ネジ B】 ①中心棒がなめらかに滑ることを確認する。



⑧台左 ⑨台右 をつける【木ネジA】



木ネジ A

木ネジ A

⑪台中 をつける【木ネジA】

⑫台手前 をつける【木ネジA】

⑬支点ガード左 ⑭支点ガード右 をつける。裏面から【木ネジB】

⑯支点 をつける。【木工ボンドのみ】

①中心棒 に ⑱テーブル をつけ ⑲テーブル支え左 ⑳テーブル支え右 をつける。  
この時、背面が平らになるようにする。【木工ボンドのみ】3本のGクランプで締め付ける  
(左右上下) 数時間放置して乾燥させる。

㉑背板 に ㉒つの をつける【木ネジB】

⑮ペダル を ⑬⑭支点ガード左右 の間に入れる。

①中心棒 を ②③柱左右 の間に入れる。

⑮ペダル を踏み、①中心棒 が上下に動くことを確認する。

使用するアルコール消毒液のボトルを ⑱テーブル の上に置き {㉒つの・㉑背板} の高さを決める。

㉑背板 をつける【木ネジB】

㉓㉔ボトルストッパー左右 をつける【木工ボンドのみ】

アルコールが出すぎる場合は ⑫台手前 に ㉕ペダルストッパー となる木片を貼りつけ調整する。

**磨く、塗装する**

